山本学園だより

第78号
発行者
山本学園情報文化専門学校
同　教育後援会
TEL 0566−81−2151

青春の誠 実りある巣立ち

理事長　山本　直明

本年度は、夏にパリオリンピックが開催され、各選手の活躍でたくさんの感動が生まれました。やり投げ女子の北口榛花さんは、六十五メートル八十を投げ、見事金メダルを獲得しました。北口さんをメディアで見るたびに、元気をもらえるのはなぜでしょうか。弾ける笑顔。飾らない人柄。競技に向かう真摯な姿勢。そして、単身チェコに渡ってレベルアップを目指すチャレンジ精神。北口さんからは、前向きなエネルギーがあふれ出ているからではないでしょうか。

卒業生のみなさんもこの三年間、明るく前向きに学校生活を送ってきました。

五月の体育祭。競技に全力で取り組む姿、仲間を大きな声で応援する姿は感動的でした。また、終了後に互いをたたえ合う姿からは、皆さんの達成感、充実感を見て取ることができました。

十月の学園祭。『Spectacle Bright〜最高の文化祭、壮大な光景があなたを待っている!!!〜』とテーマを掲げ、CGアニメーション、ファッションショー、YGパフォーマンスと圧巻のステージを作り上げました。展示の部、生徒会企画等の各ブースでは授業や部活動で取り組んだ成果を披露したり、来場者を楽しませたりしました。復活二年目の屋台では、おいしい食べ物を提供するとともに、元気に活動する姿で来場者を笑顔にしました。皆さんの頑張りにより学園祭、オープンキャンパスは大成功となりました。

五年目を迎えたトワイライトイルミネーション、テーマを「Sparkle Illumination〜知立に煌めく　鮮やかな光〜」とし、実行委員を中心に実施しました。地域の方々が足を止め、笑顔で鑑賞する姿を見るにつけ、街や社会を明るくしたいという皆さんの目的が達成できたと確信しました。

日常の学校生活においても一人一人が地道に努力を続け、多くの成果を上げました。検定や資格取得等に向けて努力を積み重ねて知識、技能を高め、たくさんのすばらしい実績をあげました。

「至誠にして動かざるものは未だこれ有らざるなり」は中国の『孟子』の一節です。これは、「誠意ある心をもって尽くせば、動かなかった人など誰もいない」という意味で、本校の校訓「誠」に通じる言葉です。皆さんは、これからの世の中を担い、築いていくこととなります。誠の心を持ち続け、社会の一員として信頼される人になってください。

多くの人との良き出会いに恵まれ、皆さんの今後の人生が幸多いものとなることをお祈りしています。

失敗は成功のもと

教育後援会会長　田中　辰典

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましても、こうして無事に卒業を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。山本理事長、松浦校長をはじめ先生方や学園関係者の皆様に対し、保護者を代表しましてお礼申し上げます。

本日、この特別な日を迎えられたことは、皆さんの努力と忍耐の賜物です。これまでの三年間、学園での経験や仲間との絆、そして困難を乗り越えてきた日々が、皆さん人生においてかけがえのない宝物となったことでしょう。振り返れば、楽しい思い出や苦しい経験、時には、挫折したこともあったかと思います。しかし、それらすべてが皆さんを今の姿に育て上げてきたのです。この場所で学び、成長したことは、今後の人生において大きな財産となることでしょう。これから先の道のりは、決して平坦ではないかもしれません。しかし、皆さんには自らの力で未来を切り拓く力があります。挑戦を恐れず、自分の目標に向かって進んでいってください。失敗を恐れず、むしろ失敗から学び、次につなげていくことが大切です。

最後に、皆さんの未来が希望に満ち、輝かしいものであることを心から願っています。自分を信じて一歩一歩と進んでいってください。皆さんのこれからの活躍を楽しみにしています。改めて、ご卒業おめでとうございます。

スパークルイルミネーション〜知立に煌めく　鮮やかな光〜

十月十七日（木）第六回生徒議会において「スパークルイルミネーション」企画と同実行委員会発足が提案され、全会一致で可決されました。この企画は校舎を電飾し、地域の魅力向上と発展に寄与するため、そして高校生活のかけがえのない思い出をつくるためという目的で、生徒会役員によって計画されました。

有志実行委員六十二名と有志教職員九名は、十一月初旬イルミネーションのデザイン構想や備品点検を行いました。そして、十一月中旬より始まった電飾設置ではイルミネーションを使って、「屋上からの四本のドレープライトツリー」「桜の木にぷかぷかくらげだよ」「キューティー映えスポット」といった電飾を造り上げました。また、本年も去年と同様、プラスチック段ボールを使った創作イルミネーションを制作しました。「くいしんぼうのカービィー」、「三羽トリオのシマエナガ」「ねむいカビゴン」、「サンタのメリークリスマス」、「ミッキーミニーのラブラブ」、「目玉親父のサンタクロース」といったものまでさまざまなイルミネーションが展示されました。「地域の魅力向上と発展に寄与する」という目標を掲げた「スパークルイルミネーション」は、地域を輝かせることに成功しました。

長野県高等学校 ワープロ競技会

十一月二日（土）に開催された「第十八回長野県高等学校ワープロ競技会」に、本校生徒六名が緑誠蘭高等学校の代表として参加しました。今回の大会も選手選考を実施し、部員の中から六名の代表生徒を選出しました。生徒たちは、大会までの日々、お互いに切磋琢磨しながら練習に励み、大会へ参加しました。今回は、緑誠蘭高等学校として初めてとなる団体優勝、個人第一位を取ることができました。結果は次の通りでした。

団体の部
優勝　緑誠蘭高等学校
星野　沙弥（竜　神中）
富樫　拓眞（梅坪台中）
加藤空瑠海（桜井中）
石川　友愛（前林中）
杉本　雄哉（安祥中）
井手　柚葉（若園中）

個人の部
第一位　加藤空瑠海（桜井中）
第四位　石川　友愛（前林中）
第五位　井手　柚葉（若園中）

馬術　武田さん　国民スポーツ大会四位入賞!!!

本校三年武田侑大さん（豊田・末野原中）が、十月に行われたSAGA2024国民スポーツ大会馬術競技少年の部団体障害飛越競技に出場し、第四位に入賞という快挙を成し遂げました。その後、十一月に開催された令和六年度東海高等学校馬術王座決定戦障害飛越競技では見事に優勝に輝きました。十二月に開催された、第九回全日本高校生自馬選手権大会コンソレーション競技障害飛越競技においても優勝に輝きました。

大学へ進学後も、馬術競技を継続していく武田さんの今後の活躍が大いに期待されます。

第四十回調理技術コンクール　東海北陸地区大会出場

十月二十二日（火）、第四十回調理師養成施設調理技術コンクール東海北陸地区大会が開催されました。この大会は調理師学校を、今年度卒業する一万五千人が対象の調理技術を競う大会です。調理師科より二名の生徒が出場しましたが、全国大会出場には残念ながら至りませんでした。大会の厳しさを後輩に伝えて、来年に向けて猛練習を続け、全国大会に挑みたいです。

天野　珠里（翔南中）
松原　あみ（寺津中）

栄誉に輝く卒業生【卒業生各種表彰】

山本学園情報文化専門学校　学校賞
愛知県知事賞
調理師科　矢野　李緒（雁が音中）
知立市長賞
ファッションデザイン科　石田　佑実（井郷中）
緑誠蘭高等学校　学校賞
山本学園情報文化専門学校　優秀技能賞
愛知県専修学校各種学校連合会　会長賞
ビジネス科　鈴本　奏太（石野中）
緑誠蘭高等学校　優秀技能賞
調理師科　松原　あみ（寺津中）
ビジネス科　石川　蒼偉（竜神中）
村川　智輝（豊南中）
山本学園情報文化専門学校　優良賞
調理師科　菊地　心羽（崇化館中）
ビジネス科　遠藤　優斗（高岡中）
大久保障那（竜南中）
伊藤　弘晃（城北中）
日本私立中学高等学校連合会賞
ビジネス科　杉下　裕香（東浦中）
全国商業高等学校協会　成績優秀者賞
ビジネス科　稲垣　晶（安城北中）
緑誠蘭高等学校各種検定試験優秀者賞
ビジネス科　近藤　徠（岡崎南中）
石川　蒼偉（竜神中）
山本学園情報文化専門学校　功労賞
調理師科　矢野　李緒（雁が音中）
ビジネス科　成田　愛琉（岡崎北中）
武田　侑大（末野原中）
船山　優人（矢作北中）
遥哉（西尾中）
全国商業高等学校協会　高度資格取得者賞
ビジネス科　藤　徠（岡崎南中）
石川　蒼偉（竜神中）
山本学園情報文化専門学校　特別賞
ビジネス科　杉山　晴（幸田北部中）
本下　主磨（青陵中）

活躍する本校生徒【各種表彰・代表】

愛知県高等学校総合体育大会　卓球競技　西三河支部予選会
男子学校対抗　山本学園情報文化専門学校
第二位　佐藤　彰胡（安城南中）
男子シングルス　佐藤　彰胡（安城南中）
優勝　遥哉（西尾中）
第三位　下村　遥哉（西尾中）
本下　主磨（青陵中）
佐藤　彰胡（安城南中）
松島　光希（光陵中）
東海卓球選手権大会
東海大会出場　佐藤　彰胡（安城南中）
松島　光希（光陵中）
西三河地区高等学校学年別卓球大会
第三位　佐藤　彰胡（安城南中）
知立市共同募金委員会感謝状受贈
山本学園情報文化専門学校生徒会
明るい選挙啓発ポスター
知立市市特選・愛知県入選
黒田　実優（若園中）
畔柳恵利花（猿投台中）
知立市「親子川柳」
入選
石川　友愛（前林中）
竹内　心美（高岡中）
成田　凛風（上郷中）
山口カル（刈谷山中）
永井　沙羅（知立南中）
川野　里紗（知立南中）
佐藤　彰胡（安城南中）
星野　沙弥（竜神中）
萬福　友惟（雁が音中）
上西浩志朗（竜神中）
野村　和生（刈谷南中）
金田　修一（蒲郡中）
三輪　拓也（新香山中）
村上　桃香（金屋中）
新垣クミコ（若園中）
荒川莉々華（雁が音中）
松森　蓮（常磐中）
志賀　有真（井郷中）
袴田　愛心（浄水中）
大羽　穂果（南陵中）

佳作
女子ダブルス　森口　華音（三好中）
男子シングルス　佐藤　彰胡（安城南中）
優勝　遥哉（西尾中）
東海卓球選手権大会
東海大会出場　佐藤　彰胡（安城南中）
松島　光希（光陵中）
西三河地区高等学校学年別卓球大会
第三位　佐藤　彰胡（安城南中）
知立市共同募金委員会感謝状受贈
山本学園情報文化専門学校生徒会
西三河地区高等学校卓球リーグ大会
男子一部　山本学園情報文化専門学校
第二位　船山　優人（矢作北中）
愛知県専修学校各種学校連合会卓球大会
男子団体戦　山本学園情報文化専門学校
優勝　下村　遥哉（西尾中）
準優勝　船山　優人（矢作北中）
第三位　本下　主磨（青陵中）
船山　晴（幸田北部中）
全国大会出場　佐藤　彰胡（安城南中）
愛知県夏季卓球新人大会
男子シングルス　船山　優人（矢作北中）
優勝　拓也（新香山中）
知立市表彰式　感謝状受贈
本下　主磨（青陵中）
佐藤　彰胡（安城南中）
後藤杯名古屋オープン卓球選手権大会
全国大会出場　佐藤　彰胡（安城南中）
中部日本卓球選手権大会
中部大会出場　佐藤　彰胡（安城南中）
国民スポーツ大会　卓球競技
県大会出場　高岡　遥哉（西尾中）
船山　優人（矢作北中）
本下　主磨（青陵中）
佐藤　彰胡（安城南中）
畔柳　雅也（高浜中）
松島　光希（光陵中）
宇津野鋼一（河合中）
愛知県高等学校総合体育大会　卓球競技　西三河支部予選会
男子学校対抗　山本学園情報文化専門学校
第二位　佐藤　彰胡（安城南中）
男子シングルス　佐藤　彰胡（安城南中）
優勝　遥哉（西尾中）
県大会出場　下村　遥哉（西尾中）
本下　主磨（青陵中）
佐藤　彰胡（安城南中）
松島　光希（光陵中）
男子ダブルス　船山　優人（矢作北中）
県大会出場　下村　遥哉（西尾中）
本下　主磨（青陵中）
松島　光希（光陵中）

第四十回記念　全国専門学校卓球選手権大会

令和六年十二月三日・四日、東京都駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場にて、第四十回記念全国専門学校卓球選手権大会が開催されました。この大会は専修学校制度十周年を記念して、昭和六十年十月に第一回大会が開催され、本年度で四十回を数える歴史ある大会です。

本年度も全国専門学校卓球連盟と全国専門学校体育連盟主催の下、文部科学省の後援を受け、専門学校日本一の称号と文部科学大臣杯授与に向け、多くの専門学校生が東京駒沢の地に集いました。

例年同様、高校時代に各県で活躍した年上の全国各地の強豪選手に対して、本校男子卓球部は果敢に挑戦し、見事、全国大会優勝を果たしました。また、シングルス、ダブルスでも優勝し、創部初となる全種目制覇の三冠に輝きました。

希望を胸に今、はばたく
卒業生から在校生へ

思い出と夢
ファッションデザイン科三年　石田　佑実（井　郷　中）

山本学園で過ごした三年間で、私は多くの知識と技術を身につけることができました。毎日の授業や検定補習、一年生で初めて作ったスカートやコンテストのために作った衣装も、全て今の私の力になっています。時には思うように物ごとが進まず苦しい思いをしたこともありましたが、今ではそれも成長の材料だったと思えます。

私には、将来入社したい企業があります。その夢を叶えるために、中部ファッション専門学校で広く深い知識と確かな実力を身につけたいです。

夢に向かってこれから先も努力を続けていきます。

三年間を振り返って
調理師科三年　谷口　心美（高　岡　中）

私は山本学園の三年間で知識や技術だけでなく、食材への敬意や料理を通じて人を喜ばせるすばらしさを学びました。時には課題に悩むこともありましたが、失敗や壁を乗り越えるたびに成長を実感し、仲間と協力して挑戦を続けることで困難を乗り越える力を身につけることができました。三年間で身につけた技術はもちろんのこと、料理に向き合う姿勢や学び続ける意欲は、これからの人生においても私の大切な支えになると思います。

卒業後、私は愛知淑徳大学に進学します。大学ではこの三年間で得た技術や経験を生かして興味のある分野について深く学び、成長していきたいです。

三年間を振り返って
調理師科三年　砂田　そよ（竜　北　中）

私は山本学園の三年間、調理について学んできました。入学当初は不安もあり、うまくいかないこともたくさんありました。しかし先生方からの的確なアドバイスを聞き、クラスメイトとも協力し合いながら実習や実技試験をがんばることができました。学園祭での展示作品作りは、友人と協力して最後までやりとげることができました。私にとって最高の作品ができあがったことは、最高の思い出になりました。

卒業後は、中部製菓専門学校に進学します。この高校生活で得た知識と技術を生かし、夢を叶えるために常に努力をし続け、成長していきたいです。

国家資格取得に向けて
ビジネス科三年　林　優寿（猿投台中）

私は、中学生のころにパソコンに興味を持ち、その中でパソコンについてもっと知りたい、使えるようになりたいと考え、山本学園に入学を決めました。入学してすぐは思うような結果が出ず、落ち込むこともありましたが、先生方や友人のアドバイスを受け、情報についての知識や技術を身につけることができました。特に、検定では積極的に補習に参加し、情報処理検定一級を取得することができました。

専門課程に進学後も山本学園での経験を生かし、国家資格の取得に向けて努力し続けたいです。

高校生活で培った経験
ビジネス科三年　尾崎　翼（安城北中）

私は、高校二年生と三年生で、体育祭執行委員として得点係を担当しました。事前に作業手順や役割分担を調整し、複数人でチェック体制を構築してミスを防ぎました。

また、フットサル部のマネージャーとして、ビブス管理や試合撮影を行い、部員が試合に集中できる環境を整えました。これらの経験を通して、チームで協力することや、誰かを支える喜びを実感することができました。

今後は、高校生活で培ったこれらの経験を生かし、就職先であるトヨタ自動車でも多くの人々のために力を尽くしていきたいと考えています。

山本学園で学んだこと
ビジネス科三年　生駒　海吏（篠　目　中）

私は、トヨタ自動車株式会社に内定をいただきました。山本学園で多くのことを学んだり、さまざまなことを経験させてもらったおかげだと感じています。

高校生活では部活動や体育祭などを通してチームワークの大切さを学び、学校での活動の他にも地域の夏祭りイベントやスポーツ大会のスタッフなどのボランティア活動も参加させていただきました。チームの仲間やお客様が笑顔になり、喜んでもらえたことにとてもやりがいを感じました。

今後も、この山本学園で学んだこと、経験したことを今後の人生で生かしていきたいと思っています。

在校生から卒業生へ
贈ることば

ご卒業おめでとうございます
ファッションライフ科二年　小島　由奈（梅坪台中）

先輩方と直接お話をする機会は多くありませんでしたが、一緒に過ごした時間の中で、いろいろな行事や活動に積極的に取り組む先輩方の姿をたくさん見てきました。力強い先輩たちの存在は、私たち後輩にとっての目標となっていました。

学園祭のファッションショーでは、ファッションライフ科を一つにまとめ、素敵なステージ発表にしてくれました。私たちはその後ろ姿を見て、多くのことを学びました。

私たちもこの学園での経験を糧に、自分の道をしっかり進んでいきます。これから先輩方が新しい道を歩まれるにあたり、ますますのご活躍を心よりお祈りしております。

ご卒業おめでとうございます
調理師科二年　真野　詩織（富士松中）

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。先輩方には、補習や体験入学の手伝い、部活動でお世話になりました。

補習や体験入学の時には的確なアドバイスをしてくださり、自信を持ちテキパキと動いている姿を見て憧れを抱きました。部活動では、先輩方は努力を惜しまずに練習をされていて、明るく元気で優しく、一緒にいられる時間が幸せでした。

私も先輩方のような、人に優しく、努力を形にできる人になれるように頑張りたいと思います。

ご卒業おめでとうございます
―ICTビジネス科二年　石川　友愛（前　林　中）

先輩方には、体育祭や学園祭、イルミネーションなど、さまざまな学校行事で大変お世話になりました。私は人と話すのが苦手で、場の雰囲気に馴染めるか不安でした。先輩方は、そんな私に気さくに声を掛け、わからないことや困ったことがあったときには優しく励ましてくださいました。おかげで楽しく作業を進めることができました。私も、来年は先輩方のように、優しく思いやりがあって、頼りになる三年生になれるよう頑張りたいと思います。これまで本当にありがとうございました。先輩方のご活躍を心よりお祈りしています。

学園祭

十月二十五日（金）二十六日（土）の二日間にわたり、第三十四回学園祭・オープンキャンパスが開催されました。舞台発表の部では、ビジネス科によるアニメーションの上映、ファッションデザイン科によるファッションショーが行われました。ショーの中では、中島伶菜さんの「bouquet」が、YG賞・知立市長賞を受賞しました。また、YGパフォーマンスのステージ発表も大いに盛り上がりました。

展示の部では、調理師科による展示作品の中から投票を行い、製菓部門では谷口心美さん、石原ももさん、矢野李緒さんによる「Blooming Magic Moments 忘れられた靴」が、技術部門では、酒井瑛さん、一町田萌花さん、中村明日香さん、比嘉ゆりあさん、宮坂心彩さんによる「秋の重箱」が、二年生部門では今田涼太さん、浅原昂琉さん、蒲池祥喜さん、馬場恵さんによる「3本のバラのクリスタル仕立てゼリーを寄せて」が得票を集め、それぞれ金賞に選ばれました。ビジネス科展示ではCGコンテストが行われ、伊藤瑠杏さんによる「悪魔」が最優秀賞に選ばれました。

また、今年度も、調理師科、係生徒による屋台が開催され、おいしい料理に舌鼓を打ちました。両日ともに晴天の下、幕を閉じました。

進路状況

◎進学状況合格者（二月六日現在）
合格者（二二九名）

上級学校合格者
山本学園情報文化専門学校（五十二名）
中部ファッション専門学校（六名）
中部製菓専門学校（三名）

その他の進学先（五十音順）
愛知学院大学、愛知学泉大学、愛知産業大学、愛知淑徳大学、愛知文教大学、愛知みずほ短期大学、大同大学、東海学園大学、同朋大学、名古屋芸術大学、名古屋国際工科専門職大学、名古屋商科大学、名古屋文理大学、日本福祉大学、人間環境大学、など

◎就職状況
内定企業（二月六日現在）（六十四社）

主な就職先（五十音順）
アイシンウェルスマイル㈱、愛知陸運㈱、アスカ㈱、アラコ㈱、ALSOK愛知㈱、㈱石実メッキ工業所、㈱一蘭、㈱魚国総本社名古屋本部、㈱エディオン、㈱ENEOSウイング東海支店、オカザキ製パン㈱、岡崎通運㈱、表屋㈱、カリツー㈱、刈谷紙器㈱、㈱キューブ、㈱日下歯車製作所、㈱グリート技研㈱、㈱コジマ、鴻池運輸㈱、東海支店、㈱コノミヤ、㈱サガミホールディングス、㈱サンシュウプレシジョン、㈱ジーエスエフ、自衛隊、敷島製パン㈱、㈱シャインズ、社会福祉法人勅使会、㈱鈴木軌道、大興運輸㈱、㈱竹代、㈱タチエス愛知工場、㈱ツルタテクノス、㈲天喜、東海鉄工㈱、トーエイ㈱、東名化成㈱、トヨタ自動車㈱、東レ・モノフィラメント㈱、㈱ナニワ、㈱ナンブ、㈱西鉄ホテルズ、日清医療食品㈱名古屋支店、㈱丹羽鉄工所、服部ダイカスト工業㈱、ビューテック㈱、㈱フィールコーポレーション、（医）深谷会富士病院、㈱豚市本店、㈱フタバ産業、ホーメックス㈱、㈱マリノ、丸高㈱、丸八重整備㈱、㈱マルハン、名鉄観光バス㈱、㈱メイドー、明和工業㈱、山崎製パン㈱、横浜ゴム㈱新城工場、菱栄工機㈱、㈱ロジックス、Wonder Stage Communications㈱

知立市内福祉施設へのクリスマスケーキ贈呈

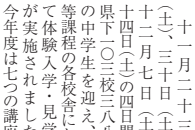
十二月二十日（金）調理師科代表生徒三名、ボランティア正副委員長二名、生徒会役員八名が三グループに分かれ、知立市内の福祉施設へ手作りのクリスマスケーキを届けました。当日は上級校である中部製菓専門学校の専門施設を使わせていただき、同校の教授や先輩方の指導を受け、ホールケーキ二十個を完成させました。この活動は二〇〇一年から始まり、今年で二十三回目を数えます。また、ボランティア委員会が一年を通して募った一円玉募金を、知立市社会福祉協議会と赤い羽根共同募金運動へ寄付もしました。

高校生一日人権擁護委員会委嘱式

十二月七日（土）ギャラリエアビタ知立店にて「高校生一日人権擁護委員委嘱式」が開催されました。これは、十二月十日（火）の世界人権デーに伴う人権週間において、人権意識の普及高揚のために開催されています。本年も、本校から八名の生徒が名古屋法務局刈谷支局より委嘱を受け、人権あゆみちゃん、ちりゅうとと共に街頭で人権啓発活動に取り組みました。

高校生一日人権擁護委員
矢野李緒（雁が音中）成田愛琉（岡崎北中）
石川友愛（前林中）小山夏凛（沓掛中）
平野和真（若園中）林　優寿（猿投台中）
辰巳徹平（末野原中）伊藤弘晃（城北中）

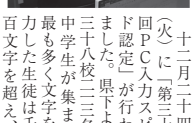
体験入学・見学会



十一月二十三日（土）、三十日（土）、十二月七日（土）、十四日（土）の四日間、県下一〇三校三八八名の中学生を迎え、高等課程の各校舎において体験入学・見学会が実施されました。

今年度は七つの講座が開講されました。ファッションライフ科では調理実習、ICTビジネス科では講座ごとに製作や実演などが行われました。どの講座も多くの中学生が参加し、大盛況でした。今後も、さらに魅力ある内容で中学生を迎え入れたいです。

第三十三回ヤマザクPC入力スピード認定



十二月二十四日（火）に「第三十三回PC入力スピード認定」が行われました。県下より三十八校二三二名の中学生が集まり、最も多く文字を入力した生徒は千四百文字を超え、二段の認定結果となりました。また、スピードと正確性を競うコンテストの部においては、個人戦に加え、団体戦も行われました。今年度は二十二校四十一チームが参加しました。

個人戦
優勝　一四一九点　（三年生）
準優勝　一二一五点　（二年生）
三　位　一二〇七点　（一年生）

団体戦　結果
優勝　名古屋市立有松中学校G
準優勝　蟹江町立蟹江中学校A
三　位　岩倉市立岩倉中学校A

専門課程姉妹校だより

中部ファッション専門学校

今年度のCFCファッションコンテストのテーマは【colore】クロア。colorer（彩る）+more（もっと）の造語で、「未来をもっと色鮮やかに」という意味が込められています。

昨今は戦争や自然災害が多発しています。そんな世の中でどう前に進み、どんな幸せを望むかは自由。その多様な在り方をファッションで表現したとき、どんな姿になるかを想像し、現代に寄り添いながら作品に思いを込めています。今年度も専門性を超えたチーム編成で製作を行いました。

外部コンテストでは入賞・入選が多くあり、現在はアパレルデザインコース二年白井奈那さんが、デザイン画からテキスタイル製作まで行っている【翔工房】に向けての作品作りに取り組んでいます。

中部製菓専門学校

中部製菓専門学校では、「専門的な技術と知識の修得」「各種資格取得」「専門分野への就職」の三つに重点を置いています。

本校では、有名ホテルや洋菓子店で現在活躍中の一流パティシエを招き、スペシャリティセミナーを実施しています。製菓業界の最新技術を学ぶ貴重な機会です。

今年度は、有名パーカリー店とのコラボ商品を販売したり、中部洋菓子技術コンテスト大会で、六人が上位入賞したりするなど充実した一年でした。

資格取得では、国家資格である「製菓衛生師試験」をはじめ、「色彩検定」「パティスリーラッピング検定」「フランス語実務検定」において、大変多くの学生が合格する良い結果を残しました。

就職においても、学生たちはよく努力し、ブライダル関係、洋菓子店、和菓子店、製菓工場、製パン工場など、自分の希望する企業への内定が決まりました。

山本学園情報文化専門学校専門課程

・コンテスト受賞結果
ポスターグランプリ入選　六名

・今年度の主な検定取得結果
応用情報技術者試験　二名
情報セキュリティ試験　四名
基本情報技術者試験　五名
実践Java　八名
Webクリエータ　五十九名
C言語プログラミング　九名
情報システム試験　三十四名
イラストレータ試験　四名
フォトマスター検定　四名
MOS試験　五十五名
CAD利用技術者　十四名
ビジネス能力検定　二十七名
電卓オペレーション　十名
日本漢字能力検定　二十一名